

2. 事業の概要と成果

(1) 上位目標の達成度

上位目標：

トゥア・ティエン・フエ省（以下、フエ省）及び近隣 2 省における出産可能年齢の女性及び妊産婦から中高年までの女性の生涯にわたる健康の向上、質の良いリプロダクティブヘルス（RH）サービスの提供とモデルづくり。

第 2 年次は、女性健康センター（WHC）で、女性に優しく安全で安心してサービスを受けられる環境が整い、包括的 RH サービスの提供を開始した。WHC の利用者からは、「施設が清潔で整備されている」というだけでなく、「プライバシーに配慮されている」、「スタッフの説明が丁寧」、「親切な態度が良かった」などのコメントが出されている。今後、WHC の研修施設で実施される研修では、具体的なロールモデルとして WHC のサービスの内容と質の高さを示すことが期待されている。また、ドラフトがほぼ完成した助産師のためのハンドブックは、女性の生涯にわたる健康のための包括的 RH サービスについてのガイドブックとして、現場の助産師が参照できるよう 3 年次には完成配付の予定である。サービスの拡大については、フエ省、近隣 2 省の村レベルの助産師の研修を実施したことで、遠隔地の農村で提供される RH サービスの向上を図ったこと、さらに、農村・遠隔地でのアウトリーチ・サービス（出張クリニック）を継続実施することで、対象省の農村でより多くの女性が質の良い RH サービスを受けることが可能となった。アウトリーチ・サービスに対しては、「超音波で胎児が確認できてうれしい」、「以前から気になっていたお腹の痛みについて詳しく知ることができた」、「些細な疑問や要望にも一つ一つ答えてくれ、今まで知らなかった産後の受診の大切さや正しい母乳の与え方なども知ることができた」等、上位の施設にかかることが難しい農村の女性から感謝のコメントが聞かれた。

(2) 事業内容

第 2 年次の事業計画にしたがい、2016 年（平成 28 年）3 月 15 日～2017 年（平成 29 年）3 月 14 日までに実施された事業内容と経過は以下の通り（別添 1. 事業計画・実績対比表 参照）

1. 女性の生涯にわたる健康を向上するための包括的 RH ケアサービスの提供

1) WHC での包括的 RH サービスの提供

WHC では、2016 年 3 月の開所から、女性が生涯を通して健康に過ごすための包括的 RH サービスの提供を開始した。家族計画サービス、妊産婦ケア、婦人科健診、乳がん検診と予防指導、子宮頸がん検診、各種血液検査、更年期ケア、思春期 RH ケア、健康・栄養相談等、各種カウンセリングを現在提供しているが、今期、分娩サービスの提供の開始および保険適用施設としての認可手続きなど、サービスの提供に必要な手続きや提供するサービスの質の向上を図るための活動を計画に従い、以下のとおり行った。

①基盤・環境の整備：2016 年 6 月までに「液状廃棄物処理施設」の建設を完了、運転を開始したことで、分娩サービスの提供が可

能な環境が整った。2016年9月には救急車両への機材の搭載を配備完了した。2017年3月に、ベトナム保健省がJICAとの協力により作成し、全国的に導入を進めているベトナム版母子健康手帳を印刷した。本プロジェクトでも導入・活用することで、継続ケアを視野にいれた質のよいRHサービスモデルの普及につなげる。

②WHC スタッフの能力強化：WHC で提供されるサービスが模範となるよう、以下の通り、WHC スタッフへの研修を実施した。

(1) 緊急時対応講習会の実施：2016年9月、11月、3月に、保健スタッフに向けた、緊急時医療機器の取り扱いのための講習会を計3回開催し、搬送体制の確認など緊急時対応に向けた能力強化を図った。

(2) 乳房ケア研修の実施：2016年12月、WHC で勤務するスタッフ10名に対して乳房ケアの継続研修を実施した。ベトナムでは乳房ケアについての技術レベルが低く、研修がなされていない。プロジェクトによる研修内容は、産後の乳房ケアについての講義、モデル演習、病院実習と実践的な研修内容で組み立てられている。講師として、JICA がゲアン省で実施したRH プロジェクトによる日本での7か月間の研修中、日本で乳房ケア技術を習得した助産師を招いた。(別添2. 乳房ケア研修報告概要 参照)

③保険適用施設としての認可取得： 保険適用施設として認可を受けるために、本事業の現地カウンターパートであるベトナム助産師会の自助努力によって WHC 敷地内へ追加施設 (WHC 別館：レントゲン設備など) を建設 (11月) し、フエ省保健局ならびにフエ省社会保険庁による厳格な視察と審査を経て、2017年3月1日に、WHC は健康保険適用認可施設の総合診療所 (General Clinic) として正式に承認された。保険適用サービス稼働のための院内情報システムを整備し、すべてのサービスが開始できる準備を整えることができた。これにより、より多くの利用者が健康保険を使って、少ない負担で WHC でのサービスを受けることが可能となった。

2) 包括的 RH サービス提供と普及のための体制強化とハンドブックの制作

プロジェクトの持続発展を目的として、関係者とプロジェクトの成果・経験の共有と理解促進をはかり、普及への基盤強化をはかった。2016年7月22日に開催されたベトナム助産師会全国大会では、全国の助産師会支部の代表や会員に向けて、また、2017年2月23日に実施したプロジェクト年次会合では、中央保健省、フエ省・クワンチ省・クワンビン省保健局、フエ人民委員会、フエ中央病院、地域の女性連合や農民連合等の関係者を対象に、プロジェクトの活動と成果、最終年の活動計画を報告・共有した。(別添3. プロジェクト年次会合報告概要 参照)

また、プロジェクトでの経験に基づいた「女性の生涯を通じた健康を守る質のよい包括的 RH サービス」のモデル普及のための助産師用ハンドブックの制作を進めた。ドラフト作成にあたっては、保健省母子保健局、ベトナム助産師会等、関係者との協議を行い、2016年1月と2月には、ベトナム助産師会が主体のワーキ

ンググループによるワークショップを開催し、内容の検討を行った。現場で働く助産師の参考となる、助産師のためのハンドブックをめざし、ドラフトが完成した。(別添 4. 助産師ハンドブック作成ワークショップ報告概要 参照)

2. プロジェクト地域内の農村・遠隔地の助産師能力の向上と、女性の RH に関する知識の向上

1) 農村・遠隔地の助産師能力の向上

(1) 指導者研修の実施：

1 年次に引き続き、2016 年 5 月に対象地域の省・郡病院等に勤務する助産師計 20 名に対する指導者研修を実施した。参加者は、プロジェクトで実施する農村・遠隔地のコミュニケーションヘルスセンター (CHC, 村の保健所) で勤務する助産師の研修で講師としての役割を果たすとともに、継続的に現場で助産師の指導にあたる人材である。同時に、各勤務先の施設においてもサービスの改善を行う指導者としての役割を担う。

本研修は、ベトナム保健省、日本助産師会、ジョイセフから専門家を講師に招き、ケーススタディやロールプレイの手法を活用して、村の助産師への効果的な指導技術や現場での具体的な指導方法などの実践に結びつく指導を中心として実施した。

研修内容：

- ① 助産技術、早期新生児ケアとその指導技術
- ② 更年期ケア、思春期ケア、カウンセリング技術、女性の人権と尊厳に配慮した妊産婦ケアのための「患者に寄り添うサービス (クライアントフレンドリーサービス)」の意識づくりや具体的実践
- ③ サービス環境の改善の手法としての 5S (整理、整頓、清掃、清潔、習慣) など

(2) 助産師研修の実施

フエ省 8 郡、クアンチ省 5 郡、クアンビン省 2 郡、合計 15 郡の農村・遠隔地の CHC で勤務する助産師を対象に、各 2 週間の助産師研修を計 5 回、合計 100 名に対して実施した。本研修は助産技術・早期新生児ケアを含む、包括的な RH サービスの知識や技能、新しい知識や技術の習得を目的とし、講義の他、グループワーク、ロールプレイ、生体模型を使用した演習、病院実習、実技試験を行った。前述した 5 月に指導者研修を受講した講師を中心に、フエ省・クワンチ省・クワンビン省保健局、フエ中央病院、ベトナム助産師会の協力により実施した。

研修内容：

助産技術・早期新生児ケア、思春期女性へのケア、出産後の女性のためのメンタルヘルスケア、更年期ケア、カウンセリング技術、クライアントフレンドリーサービス、乳がん・子宮がん検診、安全な中絶、など

(別添 5. 助産師研修報告概要 参照)

2) アウトリーチ・サービス (出張クリニック) の提供

1 年次に引き続き、WHC を拠点に、WHC 保健スタッフによる農

村・遠隔地へのアウトリーチ・サービスを、計 20 村で実施した。婦人科健診、各種カウンセリング、通常村では行われていない超音波健診などの RH サービスを計 3,052 名の女性に届けた。また、同アウトリーチ・サービスやモニタリング訪問で訪れた CHC や村の集会所において、住民の健康への知識や RH 知識の向上のための啓発活動を計 23 村において計 1,449 名の参加を得て実施した。（別添 6. アウトリーチ・サービス、健康教育報告概要 参照）

(3) 達成された成果

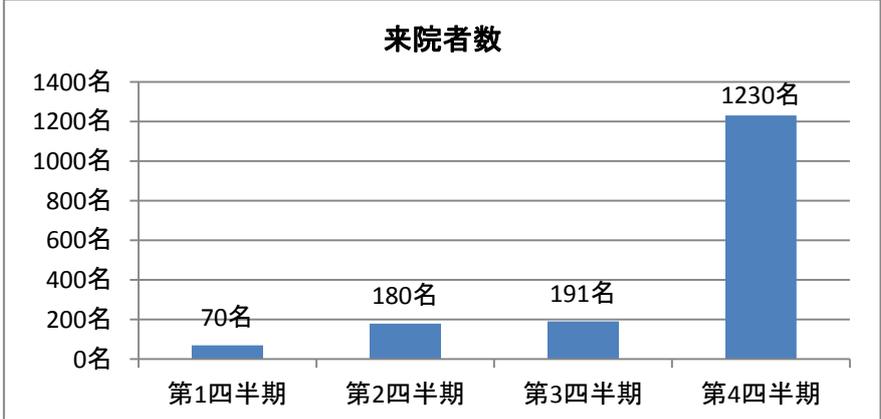
プロジェクトの活動は全体を通して順調に進捗し、2 年次の「WHC での女性の生涯を通じた包括的 RH サービスの提供、研修を通じた助産師能力の向上、農村・遠隔地での質のよい RH サービスの提供の継続」という目標はおおむね達成した。

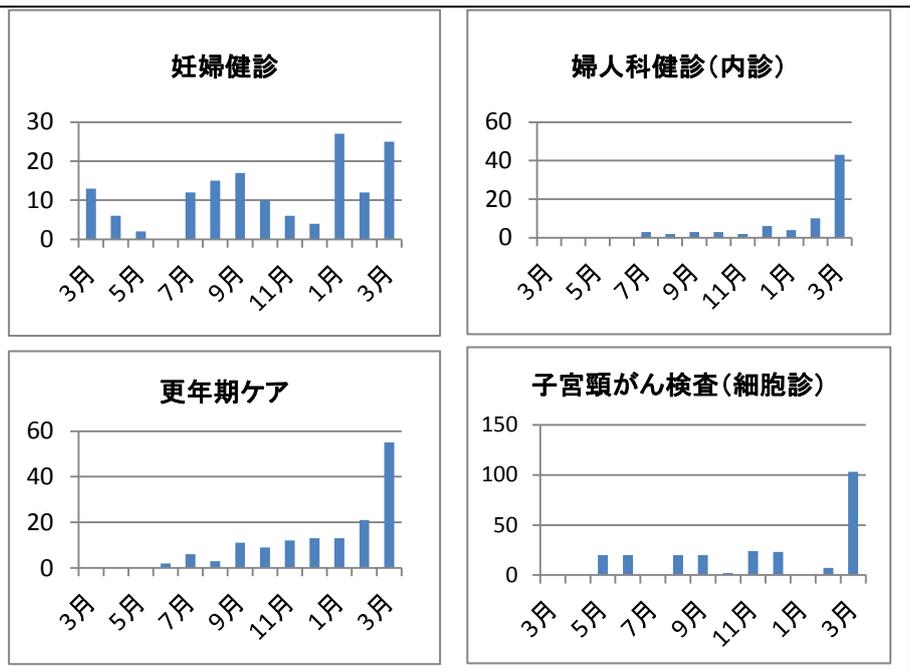
女性の生涯にわたる健康を向上するための、包括的 RH サービスを提供する基盤が整い、順次サービスの提供を開始した。「期待される成果」ごとのまとめは以下の通り。

成果 1. 女性の生涯にわたる健康を向上するための包括的 RH ケアサービスの提供

第 2 年次は、WHC が安全で安心な医療サービスを提供する保健施設としての準備を継続し、順次予定していた包括的 RH サービスの提供を開始し、正常分娩・産後ケアを含めてすべてのサービスを提供する体制を整えた。また、包括的 RH サービスのモデルとして機能するため、継続して WHC 保健スタッフへの研修を実施し、サービスの質の向上を図っている。WHC の来院者数は、センター開所後に徐々に伸び、1 年間で計 1671 名が来院した。2017 年 3 月の健康保険適用施設登録後には来院者数の急激な増加がみられた。妊婦健診、婦人科健診、更年期ケア、子宮頸がん検診においても同様に、サービス件数が増加している（サービス関連指標グラフ参照）。

WHC 利用者からは、「とても清潔できれいなところが気に入っている」「治療も説明も丁寧で、一人ひとり部屋に入って診察してもらえたので安心できた」「自分が話したことだけでなく、時間を取って先生からいろんな質問をしてくれて、色々な不安が解決した。ここに来てよかった」「病院にきて、笑顔で迎えてもらったのは初めて。みんなにも紹介したい」などの声が聞かれている。





今期、液状廃棄物処理施設の建設、連携病院との緊急時の搬送体制整備と緊急搬送機材の配備を完了し、ベトナム国健康保険制度に則った保険適用施設としての認可を受けた。この認可手続きに想定以上の期間を要し、2017年3月の認可となったため、正常分娩・産後健診・産後の乳房ケアサービスの開始に至らず、準備のみに留まった。そのため、2017年度より出産・産後ケアの提供を開始し、成果の分析については、3年次終了時に行うこととする。また、総合診療所の認定を正式に受けたことで、当初計画よりもサービスの幅が広がったことから、地域病院としての利用者も加わり、WHCの2017年3月の総受診者数は、前月2月の10倍近く増加した。

視察訪問も多く、WHCの提供するRHサービスの内容と質の高さはもとより、研修施設としての役割に対して、省内外からの期待が高く、ウェブニュースをはじめとするメディアでも紹介された。今後は、WHCでの女性の尊厳に配慮した質のよい包括的RHサービスを提供し、他地域のモデルとして積極的に役割を果たしていくことが、WHC職員の間でも認識・自覚されている。

成果2. 女性健康センター (WHC) スタッフによる遠隔地への定期的なアウトリーチ・サービス

農村・遠隔地へのアウトリーチ・サービスを計20村で実施した。計3,052名の女性に対し、普段は受けることのできない質のよいサービス（超音波健診、婦人科健診、家族計画サービス、カウンセリング等）をWHCスタッフが中心となり届けた。サービス提供には、WHC保健スタッフと指導者研修を受けた郡レベル助産師が、CHCの助産師と連携して行うことで、CHC助産師の能力強化も図ることができた。RHサービスを受けた女性からは、「超音波で丁寧に確認しながら質問もしてくれ、優しく話を聞いてもらえた」「一人ひとり部屋に招いてもらい、診察用のスカートやカーテンなど使ってくれたので、恥ずかしくなかった」等のコメントが聞かれた。

成果3. 助産師能力の向上：プロジェクト地域農村・遠隔地で働く助産師の知識と技術の向上

①指導者研修：20名の研修終了者は、保健省母子保健局より指導者として正式に認定され、コミュン助産師の研修実施だけでなく、各指導者研修参加助産師が勤務する施設での経験共有や健康教育講座の開催、保健サービスやカウンセリングの質の改善などの、主体的な取り組み・実践につなげている。

②助産師研修：1年次・2年次の指導者研修受講者が中心となって講師を担い、対象3省15郡の農村・遠隔地で勤務するコミュンレベルの助産師を対象に、計5回、合計100名に研修を実施した。参加した助産師の知識・技術・意欲には、目覚ましい向上が見られた。保健省の基準にもとづいて実施したプリテスト、ポストテスト結果の比較では、正解率は研修前平均38%であったものが、研修終了後には平均94.6%へと大きな変化が見られた。各回研修に参加した100人中99人が合格ラインに届かなかったが、研修終了後は受講者全員が合格することができた（次表参照）。

研修前後の合格率・正答率（平均）の比較（合格ライン：正答率75%）

		プリテスト	ポストテスト
第3回助産師研修 （フエ省 対象者20名）	合格率	0%	100%
	正答率	44%	92%
第4回助産師研修 （クワンチ省 対象者20名）	合格率	0%	100%
	正答率	34%	94%
第5回助産師研修 （クワンビン省 対象者20名）	合格率	0%	100%
	正答率	25%	98%
第6回助産師研修 （クワンビン省 対象者20名）	合格率	5%	100%
	正答率	51%	96%
第7回助産師研修 （フエ省 対象者20名）	合格率	0%	100%
	正答率	36%	93%

研修を通して、家族への介入を含めたカウンセリングの難しさについて事例が多く上がっており、本研修でのカウンセリングスキルの学びを活かし、今後指導やレファラル等がスムーズにできるようにしたいという感想が多く聞かれた。産褥期のメンタルヘルスについては、グループワークを通して、多くの気づきが得られ、これまで見過していた問題についても検討するよい機会となった。現場で直面する課題の解決や、住民からのCHCへの信頼を得るためには、助産の専門技術やRHに関する知識の向上を含むサービスの質の向上が不可欠であることが理解された。各回の研修後には、助産師の表情や態度から研修の学びによる自信が読み取れた。クワンビン省副保健局長

	<p>からは「プロジェクトでの研修の包括的な RH サービスの充実した内容や、研修後の助産師による現場での活躍を見て、クワンビン省では、今後の継続した研修の必要性を課題に挙げている」とのコメントがあり、本研修による波及効果が期待される。</p> <p>第 2 年次に研修に参加した 100 名の助産師がそれぞれのコミュニティで提供するサービスの潜在的裨益者は、各コミュニティの女性人口約 284,400 人であり、助産サービスに限れば、出産可能年齢の女性約 174,500 人となる。</p> <p>成果 4. プロジェクト対象地域内の遠隔地域の女性の RH に関する知識の向上</p> <p>農村遠隔地でのアウトリーチ・サービスやモニタリングの際に、各村の CHC や集会所において、住民の健康の知識や RH 知識の向上のための啓発活動を 23 村にて実施し、計 1,449 名の女性や住民が参加した。内容は、啓発活動実施前の調査結果や、事前に聞き取りした村の女性のニーズに沿って、妊産婦ケア、母子の健康と栄養、家族計画等をテーマとしている。今期は、指導者となる助産師や村の助産師との協力を得て、より参加しやすい形でセッションを持つことにより、村の女性から積極的な発言や質問が出るようになった。質問や反応から、基本的な RH に関する知識が十分でないことが再認識された。「今日聞いた妊娠中の栄養は、何を食えばいいか具体的で、とても役に立つ」、「気軽に質問することができて、分かりやすかった」、「妊娠してから出産後まで、自分と子供の栄養がどんなに大切か理解できた」、「今まで知らなかった感染症の怖さなども知ることができた」など、健康教育に参加した妊婦や女性からコメントが聞けた。集団での啓発健康教育は、各回平均 63 名の参加であったが、回数が 23 回(23 村)であったことで、総数では 1,449 名、目標の 3 倍の住民に教育がおこなわれた。加えて、各村平均 152 名、計 3,052 名に提供されたアウトリーチ・サービス診察時の個人カウンセリングにおける健康教育の実施によって、各回 100 名以上に啓発・健康教育が行われ、目標を達成した。</p>
(4) 持続発展性	<p>WHC の運営管理については、クリニックの経営実績を有すベトナム助産師会が主体となって、RH サービスを中心とした予防を重視したサービスに加えて総合診療所としても運営強化をはかり、プロジェクト期間中はジョイセフが協力して管理を行いながら、自立発展へむけて取り組んでいく。また、緊急時の支援・搬送体制を含む関連医療施設や部署と連携の強化を図っている。</p> <p>アウトリーチ・サービスや健康教育の実施においては、プロジェクト開始前より一部の地域で実施してきた十分な経験をもつベトナム助産師会が、本プロジェクト活動により、地域の拡大とさらなるサービスの質の向上を図っている。第 1 年次に実施した対象地域の女性の RH に関する知識に関する聞き取り調査の結果や、研修での対象地域の現場の助産師からの情報を、アウトリーチ・サービスや健康教育等の内容に反映し、ニーズに合わせたサービス内容の充実を図っている。また、研修後のモニタリングでの実地指導等を通じた助産師間のネットワークの強化を図り、定期的かつ継続的な実施</p>

を目指して活動を行っていく。

指導者の育成や助産師の質の向上は、ベトナムにおける喫緊の課題であり、保健省の方針に一致しており、保健省からの全面的な理解と支援を得て本事業の活動を実施している。助産師研修では、参加した助産師の知識・技術の向上は期待以上の成果を得ており、これらの知識・技術レベルを維持し現場に活かされるよう、モニタリングや現場での教育にあたる省・郡レベルの助産師との連携強化を継続的に行っていく。第2年次プロジェクト年次会合においては、保健省母子保健局長により、RHサービス提供を担う助産師の継続的な教育の重要性が強調され、今後の活動へのさらなる期待が表明された。今後も、現地協力機関とのさらなる協力・連携体制を構築・強化していく。

また、助産師のためのハンドブックは、終了後も助産師のガイドブックとして、現場でのサービスの質を維持していくためのツールとして活用が期待されている。プロジェクト終了時にはベトナム助産師会の全国ネットワークを通じたハンドブックの利用促進により、包括的RHサービスモデルの普及と有効活用を目指す。